

金沢小学校の教育 令和7年度 学校経営方針

【白梅学びのエリアの教育目標】 加賀中学校・加賀小学校・金沢小学校

よよい未来・主役は子ども
～「**自立・貢献・共生・創造**」し、**よよい未来を切り拓く人を目指して～**

【白梅学びのエリア共通子ども像】

- 自ら学び、考え、表現し、責任をもって行動する子
- 自他を大切にし、思いやりをもって協働する子
- 心身共にたくましく、ねばり強く努力する子

【金沢小の教育目標】

- か し こ く 【知】 進んで学習し、自分の考えをもち、創意工夫して実践する子ども
- や さ し く 【徳】 相手の気持ちを考え、よりよい人間関係を育む子ども
- たくましく 【体】 健やかな体と心をもち、めあてにむかってねばり強くはげむ子ども

はじめに

○誰一人取り残さない学びの保障(心と体の高い安全性の基盤づくり)

- ・子どもの心の声に耳を傾け、子どもを深く理解する。(即時、聞き取りと心のケア)
- ・様々な状況にある児童に対する校内外における居場所づくりと、保護者との連携を図る。
- ・人とのよい関りの経験・体験を大切にする。
- ・子どもの不安や困りごとを言語化するチャンスを作る。(S.O.S.の出し方)
例：担任、教職員、スクールカウンセラー、保護者、電話、手紙、ICT ツールなど
- ・学校教職員が一丸となって組織的に教育活動を進め、子どもの成長を保護者・地域とともに喜び合える協働を創造する。

1 教育目標に対する重点

○やさしく「相手の気持ちを考え、よりよい人間関係を育む子ども」の育成に向けて

- ・快いあいさつの定着に向け、大人が垂範します。
- ・日々の生活指導及び特別の教科道徳の学習を要として、子どもの相手意識を醸成し、高めます。
- ・児童同士の心の交流、ふれあいを大切にした授業内外での交流と地域における園児、高齢者等との交流を図ります。

○かしこく「進んで学習し、自分の考えをもち、創意工夫して実践する子ども」の育成に向けて

- ・板橋区授業スタンダードを基に研究開発した一単位時間の基本スタイル（主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりの一つのモデル）を取り入れた生活科、理科学習の充実を図ります。
- ・上記に加え「板橋区授業スタンダードS」（Select(セレクト選ぶ・選択する)）を効果的に取り入れた個別最適な学びを模索します。
- ・学習過程における **INPUT**(知や情報を得る)、**THINK**(よく考える)、**OUTPUT**(上手に表現する)を大切にしながら、教科書の内容を読み解く力を身に付けさせることで、自力解決・集団解決の力を高めます。
- ・自分も相手も納得のある納得解を見出したり、状況に応じてよりよく改善していったりするための言語活動を活性化させる対話的な学習を進めます。
- ・一人一台端末（クロームブック）を効果的に授業、家庭学習に取り入れ、子どもが学習ツールとして適切な活用ができるよう、ルール作りを児童と創造します。

○たくましく「健やかな体と心をもち、めあてにむかってねばり強くはげむ子ども」の育成に向けて

- ・感染症防止を含めた健康教育及び生活が豊かになる体力向上の取組を進めます。
年度の初め、長期休業前における「早寝、早起き、朝ご飯」の指導
担任と養護教諭が連携した健康観察と個別の保健指導
- ・自己の体力の課題に応じて自ら課題を設定し、仲間と共に楽しむ体育及び体育的活動の充実を図る。（フリータイムの遊び、ロープジャンプ記録週間、RUNRUN!金沢 など）
- ・オリンピック・パラリンピック、2025 東京デフリンピックなどを契機とした「学校 2020 レガシー」の取組によりスポーツがもたらす生活や心の豊かさを子どもが味わわせます。
- ・運動が得意でない子も自分のめあてをもって取り組んだり、スポーツの場面に間接的に関わったりすることで、自分もつ良さをスポーツの場面に生かすようにします。
- ・新たな健康課題に、外部専門家や保護者・地域と連携して対応します。

2 その他の教育活動の推進・充実

○給食指導・食育の充実と食物アレルギー事故防止の取組を徹底

- ・給食の準備をするときにはマスクをします。給食を通して食事のマナー等を身に付けます。
- ・年度当初に職員の研修を実施するとともに、教職員間、保護者との連絡を確実にし、食物アレルギー事故を防止します。

○基本的な学校生活習慣、自立・自律した学習者の育成

- ・基本的な学校生活習慣を記した「金沢小のやくそく」の「白梅学びのエリア『あじみこしも』（挨拶・返事・身だしなみ・言葉遣い・姿勢・物の管理）」が身につくよう、家庭と連携して子どもの自立と自律を育てます。
- ・ノーチャイムの学校生活を継続し、静かな落ち着いた環境の中で、先を見通す判断力や自主的に行動する態度を育てます。

○読書活動の充実

- ・学級毎に目標を定め、全児童が積極的に読書活動を行う環境作りを進めます。
- ・図書ボランティアと協力して、積極的に読書活動を推進します。

○学校の特色を生かした教育活動の推進

- ・「学校の森」「ビオトープ」「芝生」「緑のカーテン」「畑」を生かした環境教育を進めます。
- ・地域の公園や公共施設と連携した教育活動を行います。
- ・J R C（青少年赤十字）活動を引き続き全校で実施します。

3 地域との連携

(1)金沢小学校コミュニティ・スクール委員会(CS 委員会)

CS 委員会は、学校運営に必要な支援に関する協議を行うため、区立小中学校に設置している会議体で、特に学校が抱えている課題に対して“熟議”を活用して保護者や地域の方が学校とは違う視点で具体的な解決策等について議論し合い、「魅力ある学校づくり」をめざします。

<委員会委員>

- 委員長 (加賀五四自治会長)
委員 (仲宿睦町会役員) (本校元校長) (東京家政大学教授)
(地域コーディネーター、元PTA会長) (加賀保育園長)
(おやじの会・金沢くらぶ会長) (PTA会長) (加賀中学校長)

※オブザーバーとして、地域コーディネーター・あいキッズリーダーが出席

(2)PTAや地域との連携

- ・保護者の方とともに学校教育を進めるために、保護者の方が関わりやすいように、学校行事やPTAの活動方法を改善します。
- ・PTA活動・金沢くらぶ・グリーンキーパーズ、おやじの会、読み聞かせの会や図書室ボランティア、学習支援ボランティアなど保護者や町会・自治会・近隣大学など地域と連携した多様な活動を推進します。
- ・郷土愛の育成と地域の活性化や防災対策の充実を目指してさらなる連携の強化を図ります。
- ・教育活動等を学校だよりやHP等で発信し、保護者の方が学校の状況が分かるようにします。
- ・スクールガードや登校見守り委員、下校見守りパトロール委員、PTA、警察と連携して、登校の安全体制を確保します。
- ・警察、消防等と連携して交通安全、セーフティ教室、防犯教育、防災教育を充実します。

(3)時代に応じた教職員の働き甲斐の向上と人材育成、地域人材の活用

- ・地域人材やボランティア等の積極的な活用により、教師が担うべき職務へ専念できるようにします。
- ・職員室内の良好なコミュニケーション風土を大切にし、OJTを活性化します。
- ・教職員の家庭状況等を鑑みたライフ・ワーク・バランスを推進します。
- ・定時退勤日の設定やICTツールを活用した業務改善により、超過勤務時間を縮減します。